



担当教員 *teacher in charge*



平田 昌弘

帯広畜産大学
人間科学研究部門 准教授

帯広畜産大学 後期提供科目

社会学 (牧畜論と食文化入門)

本講義では起原論と食文化を題材に、世界の様々な地域社会の生態環境と文化について総合的に考えていきます。

本講義で紹介する世界の食文化に関する知識や考え方は、北海道という地域社会で特色ある農作物・畜産物を加工して付加価値を高めていこうとする際に必ずや役に立つことでしょう。そして、講義を通じて大学生として研究に対する姿勢を学ぶことができるでしょう。

成績評価

- 1) 講義毎に実施する小レポート、2) 学期末テストにより成績を評価します。
 - (1) 毎回の小レポート点について
 - ・ 次週への宿題として課したテーマについてのレポート点
 - ・ 講義中のDVD観察（疑似フィールドワーク）による記述に対する評価点
 - (2) 学期末テストについて
 - ・ 講義の内容について、主に論述式で行います。

到達目標

1. 農耕・家畜化・牧畜の起原論について知識を増し、その概略を説明することができる。
2. 乳が人類にもたらした意義や乳加工技術の地域多様性など、世界の乳文化について説明することができる。
3. 食文化について、生態環境的、発達史的、巨視的に考察することができるようになる。
4. 大学での学び方、自ら学び思考する姿勢を身につけることができる。

授業計画

授業のトピックス

- 農耕・家畜化・牧畜の起源論、
- 乳文化論（西アジア、北アジア、南アジア、コーカサス・ヨーロッパ、古代日本・古代東アジアの乳文化など）、
- 食文化論（麦と麦利用、世界の麵文化、世界の食文化論）